

# ひめだ高松ニュース

日本共産党 和歌山市公議員

No. 1256

19.8.6

## 全英女子ゴルフ 浜野選手優勝

全英女子ゴルフで浜野日向子選手(20)が初出場  
で初優勝。浜野選手は昨年プロテストに合格、すでに今年、国内大会で勝つてきていること。日本選手の海外メジャー制覇は樋口アサミさん以来42年ぶり。若し選手の名前は、これのことです。

## 6月定例市議会報告



## 太陽光発電設備の建設に関する意見書

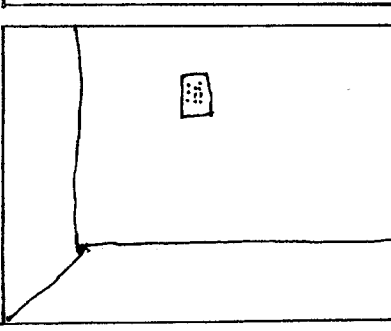
7月23日、6月定例市議会最終日、自民党以外の6  
会派が共同して理事と議員会  
議室での意見書を発議し、  
自民党議員も賛成多数  
で可決しました。その内容は、次のとおりです。  
太陽光発電設備の建設に関する意見書  
当市北部の和歌山系にお

いて、おおよそ3000ヘクタール以上の太陽光発電事業の計画が発表されている。和歌山市では25ヘクタール以上の事業については、和歌山市環境と大規模な太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例で厳しく審査されており、和歌山県におかれても、和歌山県太陽光発電事業の実施に関する条例(第37号申請、森林法に基づいた林野開発許可申請手続を厳格に審査審査を厳格にしていることである。翻って、地域住民は、太陽光発電設備の建設による影響への懸念から、安全な生活と生命を脅かさないのではと、大不安を



フリーの人々  
表現の不自由展  
その後のその後

都庁の展示内容が変更されました。



結局何も展示  
できなくなったの

感じていることである。  
これは、和歌山県は土地  
が豊かになりやすい土地柄  
であること専門家の見解が  
あり、その上、建設予定地  
付近には土砂災害警戒区域

## 今週のフリーの人々 (その202)

憲法破りの「検閲」展  
日憲法21条 集会、結  
社及び言論、出版その他  
一切の表現の自由は、こ  
れを保障する。検閲は、  
これをしてはならない。  
通信の秘密は、これを侵  
してはならない。日  
愛知県の8月1日から  
開催中の国際芸術祭「あ  
いちトリエンナーレ20  
19」の中の企画展「表  
現の不自由展・その後」  
が脅迫やテロ予告を命じ  
た攻撃にさらされ、中止

も存在し、これまで経験  
たことがないような豪雨が  
相次いで発生している昨今  
開発に伴う山林伐採による  
保水能力の低下が懸念され  
ている。それと同時に、和



ひめだ高松

泉山脈は中央構造線近くにあるため、中央構造線断層による大地震に伴って大規模な土砂災害の恐れがある。といった地形地質上の懸念のもと、30年以内に70%から80%の確率で予測されている南海トラフ地震の発生がいつなる不安を伴っている。

大規模な大隅半島電線工事の建設に関しては、和歌山の建設会社にしても種々議論が出ており、これら市民の多くが不安を抱えたまま計

画が進められることがない。また、市民の安全確保の確保が保障されるように、和歌山県には、和歌山県大隅半島電線工事の建設に関する条例に際して、申請

森林法に基づいて林地開発許可申請の審査に当たって、以上のことを考慮の上、判断が求められるものである。

## 原水爆禁止2019世界大会・長崎

8月7日(水)～9日(金) 原水爆禁止2019年世界大会が長崎で開催されます。日本共産党が長崎から

南あづま代議区と長崎県会議員の岡本さんが県の代表団として参加。会場の中心は、エリーで出発。

## 核兵器禁止の共同声明へ

来年、2020年8月、広島・長崎への原爆投下から75年の節目にあたります。被爆者の平均年齢は82歳をこえています。「生きていくうちに核兵器のない世界を」との被爆者の願いもかたくなに、このままでも、ともに世界と運動、共同を大きく発展させることが求められています。

被爆者は毎年、わたしの戦争をいっしょに、わたしの体に入らざるに伝え、核兵器が人類と共存できません。

を許さず、許さず、許さず。わたしたち被爆者を「2019年7月7日、歴史上初めて核兵器を法的に禁止する条約をつくりました」。被爆者や市民の声を力に生み出した核兵器禁止条約は、着実に参加国が増え、いま70か国が調印。23か国が批准しています。「ロンドン宣言」を世界に広げよう。

## 全国学力テストより…

文部科学省は、小学6年と中学3年を対象に4月に実施した全国学力テスト(全国学力・学習状況調査)の府県別の平均得点率などの結果を

発表しました。全国学力テストは、点数競争の弊害をなくするだけで、子どもに豊かな学力をつけよう、は役立たないことがあります。明らかになっています。

全国学力テストには毎年数十億円の予算がかけられていますが、教育条件の整備(こどもが)も必要です。

を保障するためには教育の定数を本格的に増やして、個性を伸ばすことが必要です。教育が授業の準備に十分に時間をかけ、創意あふれる教育ができるようにし、学習の遅れがちな子どもにも丁寧に対応できるようにする必要があります。

## 次男を育てよう

戦争はイヤ!  
平和と文化を語るっどい  
8月24日(土) 14時～16時  
和歌山南コメン4階 (元地場産業振興センター)  
講師  
第2次世界大戦の戦況(和歌山地区を中心)  
森崎 川順臣 氏 (和歌山県)  
和歌山地区の地場産業と歴史 - 江戸時代から  
藤本 清二郎 氏 (和歌山大学)  
10月1日(日) 10時～12時  
和歌山県立中央図書館  
主催: 和歌山県立中央図書館

8月20日(日)と21日(月)の2日間、和歌山県立中央図書館で、次男を育てよう。8月25日(木)の和歌山県立中央図書館で、次男を育てよう。8月25日(木)の和歌山県立中央図書館で、次男を育てよう。